

(別添7)

事業所名 グループホームうめの里

2 目標達成計画

作成日: 令和元年6月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者本位の生活の実現が目標であるが、職員間の情報の共有が不足している。	個別情報の充実を図る	個々の生活歴や個別の援助計画により個別の情報の共有化を図る。また、日々の変化に対しては、朝・夕の申し送り時またケア会議の時に情報の共有を図り、職員間の連携に努める。	12ヶ月
2	36	プライバシーの確保と人権の尊重に努めているが、気付かないところで傷つけている事が有る。	プライバシーの確保と人権の尊重に努める。	職員間で声掛けを行い、気付いた時に注意をしていく。朝・夕の申し送り時に気付いた点を職員全体の問題点として提示して改善を図って行く。	12ヶ月
3	43	入居者の方はトイレで排泄を行っているが、介護度が高くなるにつれて尿意・便意がない入居者も増えて来て、失禁するケースが多くなってきている。	排泄における個別ケア	個々の排泄パターンを確認し、出来るだけトイレでの排泄が行える様にしてパットやリハビリパンツの使用量を減らす。また、認知症の進行により今までにない行動が見られた時には常に情報の共有を図り対応して行く。	12ヶ月
4	40	入居者により食べ物の好き嫌いや体調等により、食事の摂取量にバラツキがある。	安定した食事(栄養)摂取を行ってもらう。	個別に食事形態の見直しを行っていく。食欲不振の原因を探究し改善に努める。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。